

## 抗 Gal 11p (*S. cerevisiae*) 抗体、ウサギ抗血清

62-001 50 ul

保存：室温または 4℃で送付。 長期保存-20℃

反応性：出芽酵母 Gal 11p

免疫原：大腸菌で発現し精製した組換え体 Gal11 タンパク質 (N 末 1~300 アミノ酸)

性状：0.1%アジ化ナトリウム添加抗血清

用途：ウエスタンブロッティング (500-1,000 倍希釈) 他の用途はためしていない。

**背景：**メディエーターは、転写調節因子に依存しない基本レベルの転写反応、および転写調節因子による転写活性化反応のいずれにおいても重要な役割を果たすタンパク質複合体である。RNA ポリメラーゼ II の最大サブユニットの C 末端に存在する 7 アミノ酸の繰り返し構造 (CTD) に結合し、CTD のリン酸化に伴い解離するという性質を示す。すでに 30 種類にも及ぶサブユニットがその構成成分として同定されているが、細胞内にはサブユニット構成の異なる複合体が複数種類存在すると言われている。**Gal11p** はメディエーターサブユニットの一つであり、1081 個のアミノ酸残基 (120 kDa) から構成される。

データリンク SGD [GAL11](#), UniProtKB [P19659](#)

### 参考文献

1. Hans SJ *et al.* "Med9/Cse2 and Gal11 modules are required for transcriptional repression of distinct group of genes." *J. Biol. Chem.* **276**: 37020-37026 (2001) PMID: [11470794](#)
2. Mizuno T and Harashima S "Gal11 is a general activator of basal transcription, whose activity is regulated by the general repressor Sin4 in yeast." *Mol. Genet. Genomics* **269**: 68-77 (2003) PMID: [12715155](#)

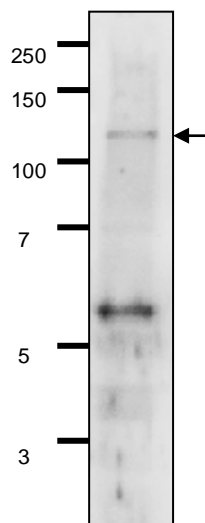


図1 抗 Gal11p 抗体を用いたウエスタンブロット法による酵母粗抽出液中の Gal11p 抗原の検出

抗体は 500 倍希釈で用いた。7.5% Gradient ゲルで Wet で転写した。